平成 18 年 11 月 20 日

各　　位

会　社　名　酒井重工業株式会社
代 表 者 名　代表取締役社長　酒井　一郎
コード番号　６３５８（東証　第１部）
問 合 せ 先　取締役管理部長　渡辺　秀善
TEL　03-3434-3401

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 18 年 5 月 26 日の決算発表時に公表した業績予想を、下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

記

１．平成19年3月期中間業績予想数値の修正（平成18年4月1日～平成18年9月30日）

（単位：百万円、%）

	売　上　高	経常利益	当期純利益
前回発表予想（A） （平成18年 5月26日発表）	7,230	120	100
今回修正予想（B）	6,950	△　35	△　90
増減額（B－A）	△　280	△　155	△　190
増減率	△　3.9	－	－
前期（平成18年3月期中間）実績	7,471	173	152

２．平成19年3月期連結中間業績予想数値の修正（平成18年4月1日～平成18年9月30日）

（単位：百万円、%）

	売　上　高	経常利益	当期純利益
前回発表予想（A） （平成18年 5月26日発表）	8,900	210	180
今回修正予想（B）	9,050	△　35	△　105
増減額（B－A）	150	△　245	△　285
増減率	1.7	－	－
前期（平成18年3月期中間）実績	8,479	241	197

３．平成19年3月期通期業績予想数値の修正（平成18年4月1日～平成19年3月31日）

（単位：百万円、%）

	売　上　高	経常利益	当期純利益
前回発表予想（A） （平成18年 5月26日発表）	14,000	200	160
今回修正予想（B）	13,900	100	50
増減額（B－A）	△　100	△　100	△　110
増減率	△　0.7	△　50.0	△　68.8
前期（平成18年3月期）実績	13,525	△　41	116

４．平成19年3月期連結通期業績予想数値の修正（平成18年4月1日～平成19年3月31日）

（単位：百万円、%）

	売　上　高	経常利益	当期純利益
前回発表予想（A） （平成18年 5月26日発表）	18,000	400	340
今回修正予想（B）	18,000	200	120
増減額（B－A）	－	△　200	△　220
増減率	－	△　50.0	△　64.7
前期（平成18年3月期）実績	16,541	△　45	142

５．修正の理由

（１）　単体中間業績予想の修正

国内、海外向けともに前年を上回る水準の完成車受注高を確保致しましたものの、国内では中間期受注残の下半期売上への持ち越しが膨らみ、海外ではグローバル生産体制における財務体質改善の一環として海外生産子会社向け部品輸出を大幅に抑制致しました結果、売上高は前回予想値を下回る見通しです。

利益面につきましては、前年同期比 2 億円相当の部材価格上昇に対して、更なるコストダウン活動を強力に推し進めておりますが、売上高減少に伴う利益減少、グローバル調達・生産改革の活動費や新製品開発費など先行経費が増加し、経常利益、当期純利益ともに前回予想値を下回る見通しです。

（２）　連結中間業績予想の修正

連結売上高は、単体業績の遅れ、北米での新規住宅着工減少に伴う販売伸び率鈍化などのマイナス要因がありましたものの、アジア市場向け販売を大幅に拡大し、前回予想値を若干上回る見通しです。

利益面につきましては、単体の利益減少ならびに採算の厳しいアジア市場での売上拡大が中心となりましたことから、経常利益、当期純利益ともに前回予想値を下回る見通しです。

（３）　単体通期業績予想の修正

通期売上高につきましては、中間期末における国内受注残高増加、海外大型プロジェクト案件、海外輸出拡大など売上高積上げ要因があり、前回予想値に近い売上高を確保できる見通しです。

利益面につきましては、コストダウン成果や増産に伴う原価改善効果が予想されますものの、中間業績の遅れをカバーするに至らず、前回予想値を下回る見通しです。

（４）　連結通期業績予想の修正

通期連結売上高につきましては、国内売上高の増加、引続き好調なアジア市場、新たに市場開拓したロシア市場向け輸出などがあり、北米においても道路建設投資拡大に伴う需要下支えが期待されますので、売上高は前回予想値を確保できる見通しです。

利益面につきましては、単体及びインドネシア生産子会社の下期業績回復が見込まれますが、単体の通期利益減少と北米事業の伸び率低下の影響で、前回予想値を下回る見通しです。

以　　上